

5年 「幼稚園と交流しよう」

—小さい子と遊ぼう—

伊勢崎市立三郷小学校 田代光夫

I はじめに

三郷小学校は、伊勢崎市の中央部より少し北に位置し、近くに華蔵寺公園や波志江沼がある。全校児童は、742名で中規模の学校である。メタセコイヤや桜の木に囲まれ、自然と調和した学校環境である。

本校の総合的な学習の時間では、「つながり」をキーワードに単元を構成している。自分らしく充実した生活を創造し、よりよい自己実現をしていくために、生活実践にまつわる活動を行い、社会とのつながりをもてるようにしていこうとするものである。その中で、探求する力を育てるために、活動にしっかりとしためあてを持たせ、それに向けて自らの課題を見つけ、方法・手段を考え、計画を作り実行し、振り返りを行い、また新たな課題を見つけていくという流れを繰り返している。

II 実践の概要

1 単元について

5年生では、自分を見つめながら他者と関われるようにしていくことをねらいとしている。そこで、幼稚園児の交流において、一人一人が園児と関われる場面を設定し、一人一人が自分を見つめ、小さい子とのふれあい方を学び、頑張って計画や準備を行い、成就感を持てるようにしている。

今まで行ってきた体験活動でたくましくなってきた自分をさらに高めていこうとする意欲をもたせていく活動を行う。ここで、小さい子との関わり方を見直し、実際にふれあう活動を行い、人との関わり方を確認することができる。そして、6年生に向けて、自分たちが学校の最高学年として、どのような気持ちを持てばよいか考えることができると思われる。

2 実態について

児童は、総合的な学習の時間には、一人一人が課題を設定し、その課題に取り組むことで、全体の課題を解決していくような姿勢が身につき始めている。自分で自分の好きな課題がもてるので、総合的な学習の時間が好きであるという児童が半数以上である。めあてを理解して、計画することは得意であるが、見通す力については、不十分な面もある。自分の行っていることを自己評価し、修正を行う活動を取り入れながら見通す力を育てることができる。課題追求力を高めるために自分の課題が解決したら、新たな課題を見つけることができるような機会を設けている。表現力は、文や絵に表すことは得意であるが、みんなの前で発表するのはあまり得意ではない。原稿を作って、みんなの前で発表する機会を設け、自信をつけさせている。

3 授業の構想（全20時間予定）

(1)ねらい

○幼稚園児との交流に関心を持ち、自ら進んで園児を楽しませようとしている。

【関心・意欲・態度】

○小さい子とどんなことをして交流するか考えることができる。

【課題把握力・見通す力】

○友達と協力しながら、小さい子と思いやりをもって交流会をすることができる。【課題追求力】

○交流会でよかったことをまとめたり、友達や自分自身の成長に気づいたりしながら、進んで周囲に伝えることができる。【表現力】

(2)評価規準

	おおむね満足できる状況	十分満足できる状況
関心・意欲・態度	自分から進んで幼稚園児を楽しませようとしている。	幼稚園児の立場になって、楽しませようとしている。
課題把握力・見通す力	小さい子とどんなことをして交流するか考えることができる。	小さい子の立場になって、交流内容を考えることができる。
課題追求力	友達と協力しながら、小さい子と思いやりを持って交流会をすることができる。	幼稚園児が安全に遊べるように考えて、園児にやさしく助言ができる。
表現力	交流会でよかったことをまとめたり、友達や自分自身の成長に気づいたりしたことを、進んで周囲に伝えることができる。	積極的に交流会でよかったことをまとめたり、友達や自分自身の成長に気づいたりしたことを進んで周囲に伝えることができる。

(3) 指導と評価の計画 (20時間予定:本時は18時間目)

週	学 習 活 動 ・ 支 援	評価項目・方法
3	<p style="text-align: center;">三郷幼稚園児と交流する活動について知ろう。</p> <p>①いつも一緒に遊んでいる人について発表し合い、小さい子と遊ぶ機会が少ないことに気づく。 ・ 同年代の子と多く遊ぶが、幼稚園の子とは交流する機会が少なかったことに気づかせるようにする。 ・ 小さい子と遊んだ経験がある児童にその経験を話してもらい、意欲が高まるようにさせる。</p> <p>②三郷幼稚園に行き、施設や園児の様子を見学する。 ・ 見学の観点を確認しておく。</p> <p>③見学の感想をまとめ「幼稚園の子といっしょに楽しく遊ぼう」というめあてをつかむ。 ・ どんな遊びができそうか、どんな遊びが喜びそうか考え、話し合う。 ・ 決まったことをプリントにまとめる。</p>	<p>【関心・意欲・態度】 ・ 幼稚園児と交流する活動に進んで取り組もうとしている。 (観察)</p> <p>【課題把握能力・見通す力】 ・ 見学して、自分たちができることを考えてめあてを持つ。 (観察・発表・プリント)</p>
15	<p style="text-align: center;">三郷幼稚園児との交流会をする。</p> <p>④交流会の計画を立て、準備を行う。 ・ どんなことができるか考える。 2年生の時の1年生との交流を参考にさせる。 ただし、2年生と5年生の違いを十分考えさせる。</p> <p>⑤自分たちの計画をみんなの前で発表し、質問やアドバイスを受ける。また、遊びの重複を調整させる。 ・ 自作の遊びを考える。既存の遊びの場合は、道具を自作するように促す。</p> <p>⑥各グループの計画を細かく立てる。 ・ 材料や道具の手配を行う。(自分たちの持ってくるものと教師に依頼するものを明確にする。)</p> <p>⑦～⑩出し物を用意する。 ・ 準備を行う。 ・ グループに分かれて準備をするので、用具の貸し借り、移動時の安全に気をつけさせる。</p> <p>⑪中間評価を行う。 ・ いままで準備をしたことについての振り返りを行い、今後の活動に生かす。 ・ 一人一人が、活動にどのように関わってきたか自己評価をさせる。</p> <p>⑫～⑯出し物の体裁を整えたり、シュミレーションを行いながら仕上げる。他の班の意見も取り入れる。 ・ 幼稚園に交流会のお知らせに行く。(代表) ・ 会場のレイアウト等を確認したり、さらに必要な物を確認したりする。 ・ 仕上げを行う。 ・ クラス全体で行うことを練習する。</p> <p>⑰リハーサルを行う。 ・ 班を前半後半に分け、園児役を作り、園児の立場ではどうな</p>	<p>【課題追求力】 ・ 友達と仲良く協力しながら活動している。 (観察・発言)</p> <p>・ 園児と進んで交流している。(観察)</p> <p>【課題追求力】 ・ 友達と仲良く協力しながら準備をしている。 (観察)</p> <p>【表現力】 ・ 振り返りを文や言葉で表現する。 (作文・発表)</p> <p>【課題追求力】 ・ 道具や景品を工夫して作っている。 (作品)</p>

	<p>のか検討をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場準備 <p>⑱交流会を実施する。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の活動中での安全確保は、担任と幼稚園の先生がそれぞれ行う。 ・児童に活動の一番の配慮事項は、園児が安全に交流ができることであることをしっかり伝える。 ・グループごとの計画を事前に幼稚園の先生にみてもらい園児の安全に十分配慮するようにする。 ・児童と園児の様子を見守ったり、時には計画を変えたり遊びを工夫するように支援する。 ・園児にうまく関われない児童を支援する。 ・計画カード等を活用し、園児が好きな遊びのグループに入れるように配慮する。 	<p>【課題追求力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く協力しながら園児と交流している。(観察) <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児のことを考えて意欲的に取り組んでいるか。(観察)
<p>まとめ る 2</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>交流会を振り返り、感想をまとめ発表する。</p> </div> <p>⑲反省や感想を作文にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子に対する感じ方が変わってきたことに気づかせる。 <p>⑳発表会を行って、自分の今後の生き方について考える。</p>	<p>【表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、よかったことや、反省すること、これからも続けていくことをまとめる (作文・発表)

(4)指導方針

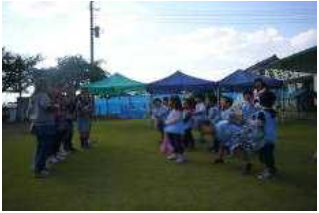
- ・幼稚園の職員と意思の疎通を図り、この交流が幼稚園にとって有意義に行えるようにする。
- ・幼稚園から児童が行うと役に立ちそうなことをあらかじめ知らせてもらう。
- ・幼稚園と交流するに当たっては、園児や児童が自然にふれあえるようにするために事前に児童と園児が接する機会を設ける。
- ・幼稚園で行われる行事へ参加し、励ましを行う。(お泊まり保育・運動会へのエールかけ)
- ・幼稚園の行事で児童が手伝えることを行う。(幼稚園の運動会の準備)
- ・園児の降園時間が遅くなるので、年度初めに幼稚園をお願いをする。
- ・一人一人の計画や自己評価を全体の前で発表する機会を作り、表現力の向上を目指す。
- ・園児の保育時間を考え、見送りまでを授業時間に含める。
- ・児童の迎えは、授業の始まる前に行う。
- ・グループは、一人一人が活躍できるように男女別に8つに分け、男女混合にする。
- ・準備においては、児童の作品が稚拙な物であっても賞賛のうえ、助言を行う。
- ・作品の細部に安全を配慮できるように助言する。
- ・交流会では、広い会場の中にまとまりある空間を演出できるよう看板を工夫して掲示する。
- ・児童のめあてを名札の裏に書き、行動の指針になるように名札を工夫する。
- ・公開があるので、園児の迎え、送りは工夫して1時間におさめる。(本来は、児童は2時間予定)
- ・5学年3クラスの交流の最初になるので、この交流会での反省を次のクラスに生かす。

3 授業の実際

(1)本時のねらい

友達と協力しながら、思いやりをもって小さい子とかかわり合うことができる。

(2)展開

学習活動と支援の様子	
<p>出 迎 え 5</p>	<p>○ 各班の代表の児童8名が、幼稚園に迎えに行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・靴の履き替えなどに時間がかかると思うが、児童が、園児の自主性を尊重しながら、笑顔で待つことができた。 ・園児用の下駄箱には、児童が花飾りなどをつけて用意した。 

○園児が入場し、三郷幼稚園園歌で出迎えた。



- ・園児が体育館に入ってきたとき、三郷幼稚園歌を歌った。三郷幼稚園卒の5年児童が中心になって、伴奏や練習を行ってきた。園児たちは、うれしそうに一緒に歌っていた。
- ・園児が研究授業参加者などたくさんの人いたが、緊張をほぐすことができた。
- ・児童から手拍子などが出て、全員が笑顔で体育館に入ることができた。

○はじめの会を児童司会で行った。

○歓迎の歌で「アンパンマンの歌」の歌を歌ったが、児童の練習した歌と園児の知っている歌のバージョンが違ったので盛り上がりには欠けた。

○あいさつもはっきりした大きな声で行えた。

○交流を行う。



体育館の配置と各班の出し物

ステージ		
<p>5班 ラフルマシーン コロコロマシーン</p> <p>児童No. 7,13,22,26,27</p>	<p>幼稚園児 五年生</p>	<p>1班 キッズフィッシング さかなつり</p> <p>児童No. 2,16,17,23,32</p>
<p>6班 レインボー ボーリング</p> <p>児童No. 4,11,19,21,31</p>		<p>2班 4スターグループ スーパーボールくじびき</p> <p>児童No. 3,10,29,30</p>
<p>7班 なげてなげてわなげっち わなげ</p>		<p>3班 とっともぐたろう もぐらたたき</p>



児童No. 12,20,28,36,37

8班

スターグループ

おみくじキャッチャー
しゅりけんぽいぽい



児童No. 15,24,25,33



児童No. 6,8,18,34

4班

ホワイト家族
スタンプめいろ



児童No. 1,5,9,14,,35

- ・各班を順番に回りながら、支援を行った。全体の様子を見ると園児も児童も楽しそうであった。
- ・各グループから一人が、園児の誘導を行ったが、途中からは自分たちの出し物を行った。
- ・園児の主体性を生かすために無理に誘わないようにしていた。
- ・自分のグループで遊び終わった園児を次のグループへスムーズに誘導できるよう助言していた。

見
送
り
10

- ・互いに終わりの言葉を言い合ってから、児童一人一人が幼稚園まで送って行った。
- ・足下に注意して、安全に幼稚園まで笑顔で送りとどけさせた。



4 まとめ（成果と課題）

年度当初より三郷幼稚園と打ち合わせを重ね、年間行事について調整を図り、小学校と幼稚園双方に無理がないように行うことができた。まず、一番大切なことは、小学校と幼稚園の教職員同士の交流が前提になる。ここから、この交流活動は始まり、本時を迎えることができた。

そして、児童の活動を多様に行うことができ、各グループの中で、役割分担がしっかりでき充実した活動を行うことができた。児童一人一人が、成就感をもち、活動を終えることができた。

全時間を通しての活動では、中間評価を取り入れ、途中での各自のできばえや課題の確認を行い、児童が自ら課題に迫れるように指導することができた。幼稚園児との交流だけでなく、グループごとの競い合いも互いに刺激になり、それぞれのグループの向上心につながった。

今回の活動は、小さい子との交流が中心であったが、年間を通して交流できる計画に見直し、5年生の大きなテーマにしていきたいと考える。

